

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>今までの理念に加え、地域密着型サービスとしての意義をふまえたスタッフの一人一人の思いを組み立て理念を作り上げている。</p>	○	<p>創立6周年を迎えて、益々地域に密着したホームにするための努力を心がけている。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>ユニットカンファレンスなどは毎回理念に沿ったプランになる様確認し実践に取り組んでいる。</p>	○	<p>4Pカンファレンスを通して、理念の実現に取り組んでいる。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>公的機関等にパンフレット、または、広報誌・ホームページなどで地域の人々への理解の浸透にアピールしている。</p>		<p>何の結果もあきらめず、ホームページは削除した。</p>
2. 地域との支えあい				
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>職員は日常的に散歩や外出の時、隣近所の人に積極的に挨拶を交わすよう心がけている。近所の方が慰問に来てくれて、その都度取れた野菜などを持ってきてくれるようになり、気楽にホームを開放してしています。</p>	○	<p>同様</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域の一員となり、例えばホームで家族の招待会などがある場合、必ず近所の皆さんを招待して一緒に歌を唄ったりしています。今度の敬老会も、ふれあいの里(町経営)で地元の敬老会の人々とプロの歌手を呼んで楽しみました。</p>	○	<p>地域の老人会と交流している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>家族会の育成は相談への対応は介護教室の開催は行っていない。但し、管理者である高崎は行政の老人会長をしているので、老人会には結構話し合いなどを行っている。</p>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>全スタッフが自己評価を読んで、再認識して少しずつ改善に向けて努力をしている。</p>	○
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>推進会議では現状等の報告のみで、利用者、家族からの意見を質やサービス向上に活かすまでには、至っていないが少しずつ、改善に取り組んでいる。</p>	○
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町の介護保険の担当者とは、常に相談をしながら施設だけでは抱え込まずに、助言を受けながら、質の向上に取り組んでいる。</p>	○
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在対象者がいないので、学ぶ機会を持っていない。</p>	
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>スタッフ間で声を掛け合い虐待の当事者にならないように努めている、高齢者虐待防止関連法を学ぶところまでには、いたっていない。</p>	○

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に契約書を渡して、1度目を通していただく、そして、再び利用料金や、医療連携体制を詳しく分かりやすく説明して、理解同意を得ている。	○ 同左
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	会話や表情から不満等を察知しながら、家族に協力を得て、不満等を聞いていただいた後、職員同士連携をとり、利用者の意見を尊重する。	○ 同左
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会時に利用者の状況を伝え、また、金銭出納帳は、その時に見て頂くようにしている。また、毎月家族の元に月の請求書と共に送付し報告をしている。	○ 同左
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時には一声かけて、苦情・意見を聞く雰囲気を作っている、と、同時に意見箱を設置して備えている。	○ 同左
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回の全体ミーティング時に時間を特別に設けて、意見や提案を聞くようにしている。	○ 同左
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者のニーズや生活時間に合わせたローテーションを組んでいる。	○ 同左

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的には、各スタッフを固定化し、馴染みの職員によるケアをしている。	○	同左
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	他事業所などに出向き、勉強会には特に参加している。正職・パートに関係なく。	○	
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的とはいかないが、近くのグループホームの訪問、見学等をして、日常業務への課題を見直して、質の向上を図っている。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	このへんについては、全くと言うほど配慮がたりない、取組んではいない。出来るだけ早くそのように設備を設けていきます。	○	
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員個々の実績や能力に応じて、向上をもって働けるよう仕事を分担している。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面接で本人・家族の両面から、生活状態を把握するよう努めている、また、家族の不安や困っていることのコアについても、把握するよう努めている。	○	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	これまでの、経緯についてゆっくりと話を聞くようにしている。それを次の段階の相談につなげている。	○	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の思い、状況等を確認して施設として改善に向けた支援の提案や相談を行いながら必要なサービスを提供できるように努める。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	やむを得ず、すぐサービスを利用される場合が多いため、家族や関係者には利用者が施設に馴染めるまで、頻りに面会に来て頂くように努めている。	○	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	敬意を持って利用者に接し、会話や言動を通じて共感・理解に努める。また、昔からの行動・習い事裁縫・畑仕事など利用者から学ぶ場が多い、常に感謝の気持ちを持って接している。	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	通院の状況は電話で伝え、日々の様子は連絡帳で個別に説明している。面会時にも家族とかいわす時間を持ち、相互の支援を図っている。面会時には利用者に対する思いを伺い、どのような介護を望まれているのかをよく聞くように心がけている。	○	同左
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	行事への参加を促し、参加や面会時には、家族と利用者の関係を大切にし、スタッフは裏方に回るように心がけている。	○	同左
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	買い物先や外食先、本人が慣例としてきた、行事や趣味などを本人から、または、家族から情報をもらい、継続していけるように支援している。	○	同左
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個別に話す時間を作り、利用者同士の間柄を把握している。	○	同左
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	地域密着型になり地元の施設に移られた方に、大勢で会いに出かけたりね移動してこられた利用者の施設にスタッフと一緒に遊びに行き元気になった姿を見て貰うなどしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家庭的な雰囲気作りに努め、本人が家に居るように暮らせるよう、家族より情報をもらい、できるだけ、本人の思いを理解しようと心がけている。	○	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者個々の生活歴を会話から聞き取りしているようにしている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者個々のおおまかな1日の流れや行動、生活リズムは把握できている。生活上の変化、発言などをケースに記入し、現在の状況を把握するように、一日の過ごし方を工夫している。	○	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族に日頃の関わりの中での思いや、聞き反映させるように努める。職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。	○	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の遂行状況効果などを評価し合い、職員が記録する利用者の状態変化や、状況・家族・本人の要望に応じてその都度見直しをしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		○	介護日誌の記入、申し送り事項の徹底と実践。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	周辺の公共施設やボランティアに協力してもらえよう働きかけ、地域に対しては、積極的に理解を求めている。	○	時折、ボランティアの支援を受けたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域のお祭りなどに、利用者の状況や希望に応じて参加して楽しんでいる。また、本人の希望や体調に応じて訪問理容サービスを利用している。	○	同左
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護が必要と思われる利用者には、地域包括センターと協力して利用できるよう支援している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	同左
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	同左
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	同左
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	同左
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		現在介護4の利用者はありません
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	同左

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住替え時期には、利用者のこれまでの慈雨今日や情報を出来るだけ詳細に伝える。住替え先との協働をできる体制にあることを伝えている。	○	同左
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	自尊心を傷つけるような言葉や対応にならないように配慮している	○	同左
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者に合わせた質問形式にして答えやすいよう、選びやすいように工夫している。	○	同左
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物や散歩など利用者の急な要望にも出来るだけ応えるように努めているが、利用者1人1人の「その日」の希望に合わせるまでにはいたっていない。	○	既わ. 利用者の希望に合わせた生活をしている。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の買い物に同行して、希望する品を探し、合ったものがあれば喜んでいただくが、特に着るものについては難しい。理髪店は利用者自身の要望で1・2ヶ月に1度訪問して利用している。	○	同左

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>調理は通常調理師専門にお願いしています。盛り付けかたづけは利用者と共に、日曜日とかは、利用者職員が対となり調理する機会を設け利用者の力を発揮してもらい、うまくやっています。</p>	○	<p>食事の盛り付けや片付けは、利用者が行っており、職員のみが行っている。</p>
55	<p>1人ひとりの好みを理解している。おやつは和洋菓子を出しているが、お酒は一度もだしません。喫煙に関しましては決められた場所で楽しんでいけるようにしています。但し今のところは利用者はタバコは一切吸っていません。</p>	○	<p>午前中は牛乳とお茶、午後は、おやつとお茶を出している。タバコを吸う人はいない。</p>
56	<p>排泄パターンを把握して、さりげなく支援しているオムツ・リハビリ等利用している方は、随時見直しを行っています。</p>	○	<p>同左</p>
57	<p>ほぼ毎日入浴を提供しているが、嫌がる方もいますので結果的には1日置きになってしまいます。また、同性の介助が出来るように調整している</p>	○	<p>入浴は週3回(月・水・金)実施、毎回必ずお風呂もしている。</p>
58	<p>個別に睡眠状況を把握して、適度な休息や安眠に努めている。夕方不穏になる利用者にはスタッフが関わりが持てるよう配慮し、スムーズな入眠に努める。 安</p>	○	<p>心を落ち着かせて安眠できるように声をかけ、目覚めを促すようにしている。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>個々のできることで、出来そうな事や頂き、感謝の気持ちを伝えているが、それが、利用者の役割、楽しみ事にはつながらない。</p>	○	<p>認知の衰えはすぐに急激なもので、何日か同じ事を話している。心のケアを支援している。</p>


項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	買い物時出来る方には本人が支払うよう支援している。ほとんど、施設側がまとめて管理している。	○	同左
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気温・天候スタッフの人員配置に応じ、30分から60分の散策を心がけ、支援している。	○	
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	近い場所への外出支援のみ実現している。遠出は家族と相談して、計画を立てるが、いまだに実現はしていない。	○	同左
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や電話を使うことを支援している、コードレス電話を自室で使ってもらうなど、ゆっくりと会話を楽しめるように、支援している。	○	同左
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間を定めておらず、各家族の事情に応じ柔軟な配慮をしている。スタッフは訪問を温かく迎えたり雰囲気察して、時には、間を取り持つような働き掛けをしている。	○	同左
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の内容を学習し、身体拘束のないケアをするということを共有認識している。	○	同左

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵は掛けない事をスタッフ間で共有認識している。外に出る気配に目を配り、見守りをしている1人ひとりの外出の様子を記入し、傾向をつかんで対応している。また、近所の方にも理解を求め協力を依頼している。	○	同左
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者のニーズや生活時間に合わせたローテーションを組、安全や所在確認をフロアーにいるスタッフがやっている。自室にいる利用者の様子はその人に合わせた時間や声掛け、見守りを行うようにしている	○	同左
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状況にあわせ、検討した上で危険のあるもの は その可能性のあるもののみ取り除くようにしている。	○	同左
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	危険への気付きを報告し、速やかに検討し事故防止に取り組んでいる。	○	同左
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の力を得て、勉強会をしている。最近はずこし遠ざかっているので今年中に消防署に連絡を取りやります。	○	緊急時に備えて、訓練の必要と思っている。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	利用者と共に避難訓練をおこなっている。年1回は地域の消防署の協力を得て、消火器の使い方などの訓練を行っている。今年はまだです。	○	不測の事態に備えて、訓練の必要と思っているが、入居者のいよ時は仲々実施が難しい様に見える。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p> <p>家族が訪問された時に入居者に状況等を詳しく伝えるようにしている。本人の生活や気持ちを優先した暮らしを支援する大切さも伝え、理解を求めている。</p>	○	同左
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p> <p>普段の状況を把握し、変化や兆候に気づいたらすぐにスタッフ間で情報を共有して記録と申し送りを確実にし、医療機関へ連絡する。</p>	○	同左
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p> <p>前にも申しましたがこの施設には、看護師さんがいますので薬に対しては、副作用のないようにチェックしています。医療機関には看護師さんが対応している。</p>	○	同左
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p> <p>排便状況に注意して、朝健康体操をした後に必ず牛乳を提供して、自然排便ができるようにとの組んでいます。</p>	○	同左
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p> <p>1人ひとり習慣や力に応じて支援を行っている。</p>	○	同左
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> <p>食べる量、水分量は大まかに把握しているが、一人ひとりに必要なカロリー、水分量を把握し、それに沿った個別的な栄養、水分確保の支援までにはいたっていない。但し看護師がおりますので、指示はうけていくらかずつ支援をしている。</p>	○	同左

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	インフルエンザについては、かかりつけの医師が出張して接種して、手洗い・うがいは励行している。	○	暑さを感じた時は直ちに医師の診断を要請して対応している
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	冷蔵庫を定期的に清掃点検している調理器具や水廻りや布巾等の清潔保持に努めている。	○	同左
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門前には季節の草花を植え込み椅子やテーブルを配置している。またね鍵を掛けずに、気楽に中に入ってもらえるように庭にいろいろな樹木を植え、池には鯉や金魚がいるので、近所の幼児が入って来て皆と一緒に楽しんでいる。	○	同左
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	音の大きさ・温度・匂い・明るさなどに気を配り共有の空間には季節に応じ敷物などを替えている。	○	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下・テラスには各自で椅子などを出してくつろいでいる。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	○	同左
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	○	同左
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	○	同左
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	○	現在入居者の出来事については、洗濯物をいびんとと廊下のモップがけくらいです。晴天の日は花の水やりを怠りません。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	○	秋から冬にかけて、三ツ葉、貝割れ大根、おろし菜等をプランターで作って楽しんでいます。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<p>①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない</p> <p>ほぼ完全に近い状態で把握している</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない</p> <p>午前中は、体操室で柔軟体操をして、歌をうたったり、感謝を授けたりしながら、牛乳やお茶を飲みながら過ごす。午後は談話室で、おやつを食べて、相談をする。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>大まかなペースでゆったりと暮らしている。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>良く生き生きとした表情や姿がみられている。感謝している。と夫と異口同音に話している。 利用者体</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>利用者の要望が実現している。(例として、買い物などにも)</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>過ごしていると確信している。</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>安心して暮らしている。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない</p> <p>出来ていると確信している。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない</p> <p>ボランティアの方や町会の老人会の身達、又、近所には子ども達も訪ねて来ている。</p>

項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない	創立6年目にして、地域に根付いたお一人になっ、様子を気がある理解者や協力者が増えている。
98	職員は、生き活きと働いている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない	入居者のために、お一人のために、身を構えています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない	15の中は測り知れません。利用者から、いつもお世話様、とかいつもありがどう、という言葉の中には、満足感を感じています。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない	お一人に来園する度に、ご家族からどうもよろしくお世話し材、と言われ、お言葉から、既に満足されているのではないかと感があります。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎月、入居者とその家族に集って貰い、家族会を開催し、その都度、ゲストを招いて、歌や踊り、大正琴、マジック等を披露して貰い、楽しいひとときを過ごさせてあげたい。入居者の家族は全員参加して、集った、という言葉を残して常路につく。又、家族会の模様は、報告書に載せて、地域の関係者に配布している。これは、今後も継続事業として実施していく方針です。また、時節毎に花見をしたり、その事を俳句に詠んで、入居者の気持ちの向上に努めている。